

うぐいす

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

新年を迎えて

千厩病院長 下 沖 収



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は暖かく雪も少ない過ごしやすいお正月でした。インフルエンザの流行も例年になく遅れておりますが、ご油断なく冬を乗り切って頂きたいと思っております。

昨年は、4月から総合診療科医師が1人体制になり、7月からは泌尿器科常勤医師が不在になり、かつてないほど常勤医師不足が進んだ年でした。住民の皆様には多大なるご不便をおかけしております。常勤医師が減っても、入院医療と救急医療を堅持し、血液透析も継続できるように一生懸命努力いたしております。また、各部門とも人員に余裕がない状況が続いており、皆様のご期待にお応えできない場面も多々あったことと思っております。この書面を借りましてお詫び申し上げます。そのような中でも、眼科診療(水曜日と木曜日午後)の再開は久々の明るいニュースでした。眼科再開への地域の皆様の要望は大きく、岩手医大眼科学教室のご高配を得て再開にこぎつけることができました。その他の外来診療部門につきましても、できるだけ皆様のご期待に近づくべく、継続的に努力を重ねております。

昨年も、ボランティアの皆様には受付や会計のご案内、病院内外のアメニティの充実、花壇の整備、医局のサポート、いろいろな催しなどを通じて患者さんや職員を励ましていただきました。病院職員一同、皆様に支えて頂いておりますことに日々感謝いたしております。本当にありがとうございます。

昨今、超高齢化社会・人口減少社会の到来が盛んに叫ばれており、医療現場においても劇的変化が予想されております。住み慣れた地域でいつまでも生活できることを目標に地域包括ケアシステム構築が急がれ、そのための病院の役割分担や地域医療構想の策定が始まりました。病床削減見込みがマスコミで報道されたことで不安に思われた方もいらっしゃると思います。しかしながら、この地域の医療を守り、日本全体の医療を守るためには千厩病院も変化していく必要があります。2013年に設置した「回復期リハビリテーション病棟」もその一端であり、住み慣れた自宅や地域への復帰を目指して集中的なりハビリを提供し、成果を上げております。今年も引き続き、病床機能や病床数、病棟再編等についての検討を行いながら、地域と時代の変化に遅れることがないように努力して参ります。

今年が申年ですが、「病が去る」、「病に勝る」年と言われ、患者さんにとっても、病院で働く者にとっても非常に縁起の良い年とされています。この1年も、私たち職員一同は「地域の皆様の千厩病院」と考え、安らぎと希望を感じてもらえる病院を目指して、努力して参ります。地域の皆様には是非とも「自分たちの千厩病院」と考え、引き続きご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

本誌の内容

1P 下沖院長年頭の挨拶

2P トピックス(花と風を愛でる会・院内文化祭・福祉ボランティア交流会)・ふれあい慰問の会)地域医療懇談会のお知らせ

3P リハビリテーション科紹介 4P インフルエンザ受入シミュレーション 院内クリスマスコンサート



花と風を愛でる会

平成27年9月17日(水)午後3時より

当院中庭で環境づくり委員会主催の「花と風を愛でる会」が開催されました。

毎年、地域のボランティアの皆さんに、院内の花壇を整備していただき、癒しの空間を楽しませて頂いております。そこで当院を支えて頂いているボランティアの皆さんと患者さん、職員との親睦を深める会が開催されました。

この日は暖かな日でしたので入院患者さんも含め約50名の参加を頂きボランティアの皆さんや職員と一緒にお茶と栄養管理室職員の手作りお菓子をいただき、綺麗に咲いたサルビアやペチュニア、ナデシコなどの花を愛でながら、またボランティアの皆さんのご提案で「幸せなら手をたたこう」を皆さんで歌って楽しいひと時を過ごしました。下沖院長から「地域の皆さんに支えられている病院ということを感じています。感謝でいっぱいですが、本当にありがとうございます。」との挨拶で会は閉会となりました。



院内文化祭



平成27年10月21日(水)から23日(金)の3日間、当院1階待合ホール付近で文化祭を開催しました。環境づくり委員会主催で行われ、癒しの空間として、患者さん、ご家族、職員等の作品がたくさん展示されました。どれもみな、力作揃いで職員の意外な趣味を発見したり、作品の出来栄えに感嘆したりと、診療の待ち時間や入院患者さん、ご家族など足を止めてご覧になっていました。来年も皆さんの作品をお待ちしております。

福祉ボランティア交流会

平成27年11月17日(水)10時より葛巻社会福祉協議会の皆さんによるボランティア及び病院視察がありました。その後当院「千厩病院福祉ボランティア」(会長:藤野宣子さん)との交流研修会も開催されました。

下沖院長より千厩病院の概要や現状の説明から始まり、当院福祉ボランティアの活動についての説明の後、意見交流があり、「葛巻病院のボランティアの立ち上げにあたり大変参考になりました」等の感想がありました。



ふれあい慰問の会



平成27年11月20日(金)千厩町女性団体連絡協議会主催で「ふれあい慰問の会」が当院1階待合ホールにて開催されました。

藤野宣子会長よりご挨拶のあと、『頭・肩・膝・ポン』軽体操からスタートし、各婦人会の皆さんから踊りや歌、ダンスなどを披露していただき、最後は皆さんで「千厩小唄」を踊りました。歌の時は患者さんからも大きな歌声が聞こえました。また、「はやくよくなってください。」などのやさしいことばと一緒に患者さんやご家族、職員へプレゼントが手渡されました。

千厩病院地域医療懇談会の開催について



千厩病院では、病院運営の現状を地域の皆様に説明し、ご意見・ご要望などについて話し合いを行うために、平成27年度第2回千厩病院地域医療懇談会を開催いたします。

どなたでも参加できますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

★日 時 平成28年2月10日(水) 午後2時30分～

★会 場 一関市役所 千厩支所 大会議室(2階)

★問い合わせ 千厩病院事務局 地域医療福祉連携室 電話 0191-53-2101

岩手県立千厩病院リハビリテーション科

◎リハビリテーション科の紹介◎



リハビリテーション科は現在理学療法士 7 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 1 名、リハビリテーション助手 1 名の計 13 名のスタッフで、脳血管疾患・運動器疾患・呼吸器疾患、がん患者のリハビリ等、リハビリテーションを行っています。

平成 25 年 7 月からは 5 階病棟を回復期リハビリテーション病棟として開設し、他の急性期病院などから患者さんを受け入れ、集中的にリハビリテーションを提供するとともに、円滑な自宅退院を目指しています。

今回はリハビリテーションという職業と回復期リハビリテーションについて紹介させていただきます。

◎リハビリテーションとは?◎

リハビリテーションとは治療段階を終えた疾病や外傷の後遺症を持つ人に対して、医学的・心理的・心理学的な指導と機能訓練を施し、機能回復・社会復帰をはかることと広辞苑では述べられています。また、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要でそのために行われるのがリハビリテーションともいわれています。リハビリテーションには大きく理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の 3 職種に分かれています。今回はそれぞれの職業について紹介します。

【理学療法】

理学療法とは、関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など、運動機能を改善し、起き上がる・座る・立つ・歩くなどの動作が出来るように練習を行い、自宅復帰または社会復帰を目指します。



【作業療法】

作業療法とは、洗面・食事・排泄・買い物・調理・入浴方法など、日常生活動作の改善と伴に社会で生活する力を取り戻す治療を行います。また、必要に応じて介助指導や住宅改修・福祉機器の相談も行います。



【言語聴覚療法士】

言語聴覚療法とは、ことばの障害や、食べる機能の障害をもった方の、社会復帰や機能改善を目指し、個別プログラムを立てて、リハビリを行います。



◎回復期リハビリテーション病棟◎

回復期リハビリテーション病棟は医師や看護師、リハビリテーション職員等多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、自宅復帰を目指すことを目的に平成 12 年に全国的に開設されました。

当院では平成 25 年 7 月より 5 階病棟を 40 床の回復期リハビリテーション病棟として開設しました。平成 27 年度からは 45 床に増床し、365 日、土・日・祝祭日もリハビリテーションを行っています。



(理学療法士 梅原優姫)

新型インフルエンザ患者受入れシミュレーション



新型インフルエンザはほとんどの人が免疫をもたず、感染力が強い新しい型のウイルスで、いつ発生するのか？ 重症度は？ 感染力は？ など正確に予測することは出来ません。

そのため、新型インフルエンザが発生した場合の急速な感染の拡大を警戒しなければいけません。

当院は第2種感染症指定医療機関であり、両磐圏域で新型インフルエンザ患者が発生した場合の受け入れ施設となっています。そこで、今年度も11月25日に市内で新型インフルエンザ患者が発生したことを想定した訓練を実施しました。

一関保健所を中心に、奥州保健所、一関消防署、連携施設である県立磐井病院・県立胆沢病院の感染制御チーム、県の保健福祉部医療政策室など感染制御のエキスパートが多数参加しての訓練となりました。

訓練内容は患者から救急要請の依頼をうけて患者搬送、入院受入れまでの対応をおこない、各関係医療機関への連絡・報告体制の確認、そして感染を予防するための個人防護服の着脱など多岐にわたり実践さながらの訓練となりました。



訓練を行って新たな課題も見つかり、早急な改善をしながら患者、家族そして職員が安心・安全な医療が行えるような環境を提供できるように感染対策のレベルアップを図っていきたいと思います。

感染管理室 感染管理認定看護師 石川泰洋

院内クリスマスコンサート



毎年恒例のクリスマスコンサートを平成27年12月16日(水)15時から1階待合ホールに特設ステージを設置し開催いたしました。



今年は環境づくり委員会主催で当院ボランティアの『朝顔のたね～千厩病院を守り隊～』共同企画で開催されました。第1部は『千厩ゴールド合唱団』、第2部には『千厩病院職員ハンドベル』、第3部には『宮川久美さんピアノコンサート』の3部構成で行われました。入院されている患者さんやご家族合わせて約70名が参加し、一足早いクリスマスを楽しみました。『千厩ゴールド合唱団』は平均年齢70代の男女で構成されていて、野菊他メドレーや「この街で」など3曲を円熟のハーモニーを披露していただきました。『職員ハンドベル』は仕事の合間に練習した聖夜など2曲を演奏しました。『宮川久美さんピアノコンサート』のピアニストの宮川久美さん(神奈川県横須賀市)は実母の実家が藤沢にあるということで、当院では今回で3回目(2009年8月・2011年6月)の演奏となりました。クリスマスメドレーやアヴェ・マリアなど7曲の演奏をして頂きました。最後は出演者の皆さんと会場の皆さんで復興応援ソングの「花は咲く」を大合唱しました。ホールいっぱいに歌声を響きわたらせ癒しの時間を過ごしました。



「すべての人びとに安らぎと希望を」



復興と再生へ

~Together As ONE~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmya-hospital.jp>

岩手県立千厩病院

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会